

令和4年度 第1回学校運営協議会議事録概要

日時 令和4年7月8日 15:00～17:00

場所 大阪府立堺工科高校 図書館

1. 開会のあいさつ（校長）

2. 出席者・自己紹介（委員・事務局）

大阪公立大学教授	土井 智晴	大阪工業大学教授	皆川 健太郎
株式会社ダイネツ係長	西尾 真由美	大山連合こども会	玉城 優
堺市陵西中学校長	村田 政教	堺工科高等学校 PTA 会長	入江 奈美
堺工科高等学校教員	東 秀行（校長）・松本 悠紀夫（教頭）・義永 高德（事務部長）・ 小寺 雅仁・堀江 拓史・安井 隆嘉之・真田 正樹・長谷川 健・ 神前 和博・山本 裕規・鶴見 宗樹・治村 賀洋子・奥村 将也・ 木村 唯那		

令和4年度新任委員

大阪公立大学	土井 智晴 委員	大山連合こども会	玉城 優 委員
堺工科高等学校 PTA 会長	入江 奈美 委員		

3. 委嘱状伝達

4. 会長・副会長選出

会長：大阪工業大学 皆川 健太郎 委員 副会長：大阪公立大学 土井 智晴 委員

5. 議題

(1) 学校経営計画等について

ア. 中期的目標（校長）

- ・文科省より、スクールミッション、スクールポリシーの設定の指示があり中期的目標とリンクさせていく。約三年間のスパンで【1：人格形成について 2・3：優れた工業人材の育成について 4：教職員のめざす方向性の一致】このような学校像をめざす。
- ・進路実現に向けキャリア教育を充実させていく。就職希望者への内定はもちろんのこと、進学希望者への理工系大学等への進路実現にも力を入れる。
- ・本校は実践的技能重点校であることから、工業教育の充実として、資格取得を奨励している。また臨海工業地域に隣接していることから地域企業との連携を図る。PBL（課題解決型学習）を導入し、三年生の課題研究にむけて一年生からチームとして協力する力の育成に取り組む。
- ・工業技術の進展が早いため、教員の自己研鑽が欠かせない。しかし、教員の労働負担の減少も行うようにする。
- ・来年度は中期目標の内容についてブラッシュアップを図る。

イ. 本年度の取組内容（首席）

- ・習熟度別授業や朝学などで基礎学力の向上に努めている。生活指導では遅刻数の減少、特別指導件数の減少に向けて取り組んでいる。コロナの影響もあるが、本年度について

はできる限り学校行事を開催したい。(意見:遅刻の実態をより明確にできる指標が必要。正規分布で無いものの平均をとると不明瞭)

- ・今年度より1年生では計算技術検定4級、危険物取扱丙種、情報技術検定3級の全員受験を行い、試験毎に補習指導をして合格率アップに努めている。また2年生以上では、各種技能コンテスト等へ挑戦している。現時点でもものづくりコンテスト(電気工事部門)近畿大会出場が決定。(意見:資格取得や技能コンテストの成績は、他校に比べてどのくらい優れているのか?)
- ・体験入学やWebページの改修を継続的に行い中学生や外部の人に積極的に工業教育の魅力を発信していく。12月にイオンモール鉄砲町で布施工科高校と合同でモノづくり体験実施予定。
- ・地域連携については昨年度と同様に刃物・溶接と連携を行う。また秋の避難訓練では、大仙公園を避難場所とし、地域の方や近隣小中学校と連携しながら防災対策体制を共有していきたい。
- ・新任研修や10年経験者研修をはじめ、技術研修などを年数回行い、教員の授業力・技能向上をはかる。例年低いスコアである会議の意識の肯定率の上昇に努める。

(2) 教科書採択について(教頭)

普通科と専門科の教科書の実物を提示。1. 2年生のものは新カリキュラムの教科書になっている。

生徒が学習しやすいように、図解が多く取り組みやすい教科書を選定している。

(3) スクールミッションについて(教頭)

教育目標やアドミッションポリシー、教育課程編成方針、堺工科の強みなどを再編、整理しながら作成していく。今後、運営会議などで案を練り、第二・三回の運営協議会にて案を示す。

(4) 定時制学校経営計画について

6. 協議内容・決議事項(会長・各委員)

- ・【委員】教職員が多くのことやっていてハードワークすぎる。不要なことを精査し業務の削減が必要。業務の見直し、削除、簡易化が結果的に生徒の為になるのではないか。目安箱の設置やいじめアンケートなどはGoogleフォームを置くなどICTを活用し日々の業務改善をしたらどうか。
- ・【学校】観点別学習状況の評価とは、従来は考査7割、平常点3割で評価していたが、「知識・技能(技術)」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価し、各観点到ABCの評価をつける。どのように生徒を伸ばしていくか、育てていくかに重点を置き、評価を変えていくというより授業を変えていくという視点がある。評価する基準が定まっていないので、評価が高すぎたり低すぎたりしている。工夫していることは、100点法でつけたものをABCにしているので成績通知書で生徒保護者にもわかりやすくしている。
- ・【学校】学校とPTAの関わりは、卒業生の制服リユース活動を行っている。就職活動前の3年生にはとても盛況。堺SDGsの取り組みともタイアップをしている。また文化祭で屋台の出店をするなど行事を盛り上げていただいている。また、昨年度は懇親会にて教員が講師をするワークショップや校内案内など行った。地域に堺工科の活動の回覧を載せられないかなど地

域との連携も図っていただいている。

- ・【委員】いじめの問題が0ということはないと思う。いじめに対してどのように取り組んだのか重きを置いて欲しい。学校以外にも逃げられる場所があることの提示をしてほしい。
- ・【学校】重大事象に至るようないじめ問題は今のところ無いが、レベルⅡ、Ⅲのいじめはこの3年間で3回程度ある。年に3回いじめアンケートを行い早期発見に努めている。事前にいじめが起きることのないよう抑止の指導等を行っている。

7. 事務連絡（教頭）

コロナ感染者が今週に入り増加しているので、手洗い・うがい・マスクなど基本的な対策を教職員・生徒へ徹底していく。

8. 閉会のあいさつ（校長）